

景気の動き

四 国（管内経済情勢報告・四国財務局）

項目	4月判断	前回（1月判断）
総括判断	緩やかに持ち直している	同左
個人消費	緩やかに持ち直している	同左
生産活動	一進一退の状況にある	同左
雇用情勢	緩やかに持ち直している	同左
公共事業	前年度を上回っている	同左
住宅建設	前年を下回っている	同左
設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	同左
企業収益	6年度は増益見込み	同左
企業の景況感	「下降」超	「上昇」超

〔四国財務局 2025年4月22日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	5月月例	4月月例	
基調判断	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。）	同左	
個人消費	消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる	同左	
設備投資	持ち直しの動きがみられる	同左	
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	同左	
公共投資	底堅く推移している	同左	
輸出入	輸出	このところ持ち直しの動きがみられる	同左
	輸入	このところ持ち直しの動きがみられる	おおむね横ばいとなっている
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	横ばいとなっている	同左	
企業	収益	改善している	同左
	業況判断	このところおおむね横ばいとなっている	改善している
	倒産件数	おおむね横ばいとなっている	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物 価	国内企業物価	緩やかに上昇している	同左
	消費者物価	上昇している	同左

〔内閣府 2025年5月22日発表〕